

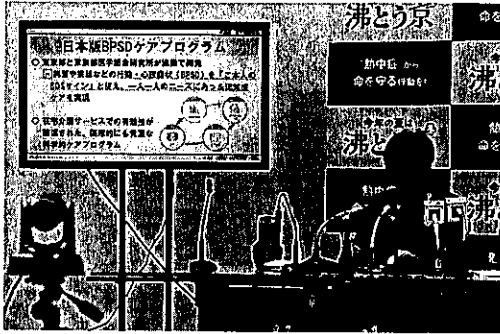
# 都局 認知症ケアプログラムの普及を

## 京社 東福 イベントなど通じて周知を図る

東京都は9月17日、認知症への理解促進や普及啓発を目的として毎年開催している「東京都認知症シンポジウム」を都民ホールで開催する。2021年に都が任命した、都内在住の認知症当事者などで行われる。

日本版BPSDケアプログラムは、認知症の周辺症状である行動や心理症状を個々のSOSとして捉え、当事者それぞれのニーズに合わせた認知症ケアを提供することを目的として開発されたもの。▽観察・評価▽背景要因の分析▽ケア計画の策定▽ケアの実行――という4つのステップを通じてケアの質を向上させ、認知症症状の改善を目指す。

本プログラムの養成研修は、2024年度介護報酬改定で新設された認知症チームケア推進加算の算定要件の一つである「認知症チームケア推進研修」に充てることが可能となっており、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、都は本プログラムの普及を図っている。現在、1200人を超える介護職員などが研修を受けているという。



小池都知事(写真)東京都提供

会場でプログラムの説明をする

日本介護福祉士会(及川ゆりこ会長)は24日、創立30周年記念式典・祝賀会を開催した。及川会長は「この30年間、介護

## 士会 念式典 彰

設協議会・大山知子会長は「日本介護福祉士会・田中雅子初代会長の物事を推し進める情熱は凄かった。1994年の設立以来、介護福祉士の地位と待遇を

地位向上をつねに心がけてきた。私が「介護助手」という概念を提唱して、介護福祉士に専門性を発揮してほしいか

同社の老人ホームなどで30カ所所で実施。認知症の診療・ケアに携わる医師、リハビリ専門職、介護職員などを招き、費用

委託の「特定」を目的に「ケアマネシメント」プロセス基礎講座

プログラムは在宅介護サービスの有効性が確認された、国際的にも貴重なプログラム。イベントなど通じて周知を図る

神戸市は7日から2日間、介護現場のニーズに沿った介護テクノロジーの開発と介護現場への導入を促進するため、「介護テクノロジー導入促進体験会&交流会」を開催した。

機器導入実績のある事業所による成功・失敗事例の発表や、移乗・移動支援や入浴・排泄支援など分野ごとに機器開発を行っている企業17社が参加。医療・介護用ベッドメーカーのシーホネクス(千葉県市川市)や介護福祉機器を製造するという

東京高年齢協会の実践・生産性向上の取り組み▽日常ケアの向上▽地域包括ケア・地域貢献

解・診療の最新事情」と題して石川県で基調講演を行う。配信期間は9月21日〜10月14日。視聴・申込はホームページ。

川崎重工業は今後、日本ノリフト協会と協同し、人手不足などの課題を抱える介護現場への適切な機器やロボットの導入をサポートする事業を行うっていくという。

神戸市は2021年度から「介護テクノロジー導入促進プロジェクト」を実施している。本イベントはその一環として行われたもの。

時間：午前10時〜午後3時40分。参加費は一般6千円、学生1千円。申込は東京都高齢者福祉施設協議会ホームページ。問い合わせは名鉄観光サービス03-6330-1121。

献・地域共生社会▽次世代を見据えた人材採用・育成・定着・広報戦略ーなど。約50演題の口演発表のほか、企業による福祉機器の展示やステージイベントとしてタレントの加藤綾菜氏による講演も行われる。

この注 施行 働

「特定」を目的に「ケアマネシメント」プロセス基礎講座

委託の「特定」を目的に「ケアマネシメント」プロセス基礎講座